

吉川市協働事業評価シート

資料 2 - 1

提出日	R 2 年 8 月 9 日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	こども福祉部子育て支援課(児童館)
	記入者名	千葉 俊樹

1 | 協働事業の概要

協働事業名	夏休みお楽しみワクワクエコ教室	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	こども福祉部子育て支援課(児童館ワンダーランド)
事業の目的及び目標値	体験や観察を通して、自然環境保護の大切さを学ぶ。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童館や二郷半用水路周辺で生き物の観察、間伐材を利用した虫のすみかで生き物調査をする。 2 雑紙を活用し匂い袋を作成し、ラベンダー等の自然の香りを入れる。 3 レジ袋削減の話と、マイバッグづくりを体験。 4 森の役割の保護の大切さを学び、間伐材でストラップをつくる。 	
協働事業決算	総額 5,686 円(うち市負担分0円)	
	簡単な内訳	<ol style="list-style-type: none"> 1 材料代 4,886円 2 ポスター、チラシ、資料 800円 (参加費及び環境ネットワークよしかわの啓発事業費)
実施期間	R 2 年 7 月30日	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

1 事業計画段階（6月13日）

2 事業実施段階（7月30日）

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

3 ふり振り返り段階（8月4日）

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 新型コロナが蔓延中の為、今年の開催が危ぶまれる中、自粛中の子供達を元気づける為にもと、児童館の想いと我々の方向が会い、実現出来た事に一同感謝。 計画から当日含めて、連絡及び情報交換を緊密に実施、又、当日は児童館から多くの物、人共に支援を頂き感謝。 【行政】 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、どのような形で実施すれば事業の目的を達成できるかの検討が必要な年となった。そこで、実施形態（昨年度は2日間での実施であったが、今年度は1日での開催とする）などを事前に協議すると共に、準備備品や役割分担についても協議し、認識を共有した。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 作業開始前に、業務内容の確認以上にコロナ対策が必要な事から、実行前後を含めての作業全般の確認を実施、事故なく終了した経験を今後活かす。 【行政】 事前に団体との十分な協議を図ったほか、事業実施までにも必要な事項の確認を行ったことが奏功し、コロナ禍の中でも参加者に楽しんでもらい、事業の目的を達成できたことから、今年度の経験を次年度の協働事業に繋げていく。特に、3密対策として行った参加人数の制限や2階ギャラリ（オープンスペース）での実施、換気、教室の机を互い違いに配置する、講師と参加者は対面を避けるなどの対策は、今後の事業にも応用できる。		

提出日	令和3年 2月 16日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

1 | 協働事業の概要

協働事業名	緑化推進事業								
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ							
	行政	吉川市環境課							
事業の目的及び目標値	ゴーヤのカーテンの設置を希望する公共施設に対して、ゴーヤの苗を配布し施設管理者調整の上、設置作業を実施する。								
事業の内容	1 苗の準備(含む育苗) 2 環境課に希望申請した公共施設に、苗を配布(6~7月)。 3 施設管理者からの希望により、苗植作業の実施。 4 施設管理者に、水やり等の管理の指導及び情報提供。 5 施設管理者の希望により、ネットの取り外し作業の実施(10月頃)。 6 環境課は公共施設との連絡窓口 7 問題発生時は双方で協議の上対処する。								
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	コロナ感染対策から大幅に内容変更を余儀なくされ、公共施設3カ所に対して実施した。 ・東部地区市民センター 4本 ・老人福祉センター 6本 ・少年センター 6本 当初、左記の3か所の他、旭地区センター・おあしす・設置を希望する小学校に設置を予定していたが、コロナウイルスの影響により中止								
協働事業決算	総額	44,500 円 (うち市負担分 44,500 円)							
	簡単な内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 苗代</td> <td>19,800円</td> </tr> <tr> <td>2 箇所への運搬費</td> <td>13,000円</td> </tr> <tr> <td>3 ネット張り用資材返却経費</td> <td>8,700円</td> </tr> <tr> <td>4 スタッフ人件費</td> <td>3,000円</td> </tr> </table>	1 苗代	19,800円	2 箇所への運搬費	13,000円	3 ネット張り用資材返却経費	8,700円	4 スタッフ人件費
1 苗代	19,800円								
2 箇所への運搬費	13,000円								
3 ネット張り用資材返却経費	8,700円								
4 スタッフ人件費	3,000円								
実施期間	R2年 5月 1日 から R2年 8月 31日 まで								
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助								

2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日： R2年 10月6日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 コロナ感染予防から、事業内容の大幅変更を余儀なくされたが、早期の綿密な確認打合せにより円滑に実施できた。 【行政】 新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され、苗の配布時期が後ろ倒しとなったが、団体と迅速に調整し、宣言解除明けには公共施設に苗の配布を実施できた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 ①作業開始前に、業務内容の確認と役割分担等の確認が重要。 ②市役所周辺での実施がなくなったのは寂しいが、今後も市民啓発及び企業へ注力。 【行政】 旭地区センターで長年実施していたネット張り架台設置を本年度で終了となったこと、また、環境ネットワークよしかわの法人化により、来年度以降の委託事業の実施については別途協議する。		